

《担当者名》 百々 尚美 生田 倫子（非常勤講師）

【概要】

家族関係・集団・地域社会における心理支援等に関する理論と実践を学ぶ。

【学修目標】

集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践を学ぶ。  
 家族関係に関する理論と実践を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	家族療法/ブリーフセラピーの認識論的なりたち	ベイトソンによってシステム論が心理療法に導入されるに至った歴史的経緯について学ぶ。	生田 倫子
2	家族療法/ブリーフセラピーの認識論的なりたち	家族療法の基礎理論：システム論とコミュニケーション理論学について学ぶ。	生田 倫子
3	家族療法/ブリーフセラピーの認識論的なりたち	MRIアプローチとソリューションフォーカストアプローチ（SFA）について学ぶ。	生田 倫子
4	コミュニケーションの語用論	「送り手が送る意味」と「受け手が受け取る意味」の語用論について学ぶ。	生田 倫子
5	コミュニケーションの語用論	原因を追究しないという認識論 円環的認識論とは何かについて学ぶ。	生田 倫子
6	集団・地域社会における心理支援	健康心理学を題材に取り上げ、その理論と臨床応用の実際を概説する。	百々 尚美
7	集団・地域社会における心理支援	疫学的研究法について概説する。	百々 尚美
8	ストレスとその対処	ストレスマネジメントについて概説する。	百々 尚美
9	ライフスタイルと健康増進	ライフスタイルと健康増進について概説する。	百々 尚美
10	ヘルスプロモーションのモデル	健康行動を形成するモデルについて概説する。	百々 尚美
11	健康と社会的行動	生活習慣（食行動、喫煙行動）と健康について概説する。	百々 尚美
12	健康と社会的行動	生活習慣（行動パターン）と健康について概説する。	百々 尚美
13	健康への認知行動的アプローチ	健康と心理・社会的要因について概説する。	百々 尚美
14	健康と運動	健康観と運動部族について概説する。	百々 尚美
15	健康とパーソナリティ	健康阻害因としてのパーソナリティについて概説する。	百々 尚美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

百々、生田の2教員よりそれぞれレポートが出題される。（100%）

【教科書】

別途指示する。

【参考書】

別途指示する。

【学修の準備】

予習（60～90分）：各回の関連キーワードについて、参考書、関連書、インターネットなどで調べておく。  
 復習（30分～60分）：学習内容を自分の言葉でまとめる。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

**【実務経験】**

百々尚美(公認心理師)、生田倫子(公認心理師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。